

第2章 重点的な取組方針（計画推進の仕組み）

選択と集中の徹底が求められる厳しい財政状況が続くと見込まれることから、第1、2期アクションプログラムに引き続き、施策等の重点化を図りながら計画を推進するため、計画で示した政策体系の中で特に力点を置くべき分野については、県政を取り巻く環境変化を踏まえながら毎年度検討し、年度ごとの重点戦略方針として定めた上で、その方針に基づいて具体的に取組むことで、「愛のくに ^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」の実現を目指します。

1 重点戦略方針の策定による選択と集中の徹底

(1) 重点戦略方針の策定

次年度において、特に重点的に取組む施策分野等を示す重点戦略方針を毎年度策定します。

同方針については、施策ごとに設定した成果指標の状況や県民のニーズなどを踏まえて政策の優先度を検証するとともに、各部局の方針を踏まえながら、全庁的な政策議論を通じて策定します。

(2) 重点戦略方針に基づく重点事業の企画・立案

策定した重点戦略方針に沿って、関係部局において、政策立案機能を最大限発揮して具体的な取組みを検討し、特に必要性が高く、効果が期待される戦略的な取組みを重点戦略事業として企画・立案します。

(3) 重点戦略事業への財源の優先的投入

重点戦略事業については、毎年度の予算編成において、財政状況を見極めながら、限られた財源を優先的に投入し、重点的に予算化を図ることにより、事業実施を強力に推進します。

(4) 重点戦略事業の公表

予算編成などを通して実施することとなった重点戦略事業は、県民に分かりやすい形で公表し、毎年度の重点的な取組分野等についての説明責任を果たします。

2 施策の推進について

各施策に設定した成果指標については、達成状況等を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。このうち、特に重点を置いて達成を目指す指標を「ターゲット指標」とし、関係部局が連携してその達成に向け集中的に事業を展開するほか、最重要課題である「豪雨災害からの創造的復興」の施策効果や進捗を示す「復旧・復興指標」を設定します。

また、成果指標の達成状況等を踏まえ、必要に応じて目標値等の見直しを行います。

さらに、数値では測れない定性的な取組みについても検証し、定量・定性の両面から推進していきます。

3 「愛媛の未来づくりプラン」推進懇話会による計画推進

外部有識者等で構成する推進懇話会により、施策の点検結果の検証や重点戦略方針の策定に係る意見交換などを行い、透明性の高い計画の推進に努めます。